

【管理運営状況公表様式】

平成21年度 青森県武道館の管理運営状況

県所管課	教育庁スポーツ健康課
指定管理者	財団法人弘前市体育協会 会長 須藤 惇
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要
武道その他体育・スポーツの普及・振興に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> 本県武道の一層の活性化及び振興を図るため、武道演武フェスティバルを開催。 スポーツを通じ地域との交流を図るため、高齢者を対象にした軽スポーツ教室を開催。 施設の認知度向上及び利用促進を図るため、青森県立・県営施設と合同で「てんこもりオリエンテーリング」を開催。 県内の学生を対象に、競技力と知識の向上を図るため、ソウルオリンピック金メダリスト北田典子氏、シドニーオリンピック金メダリスト瀧本誠氏を講師に迎え柔道教室を開催。
施設の維持管理業務	利用者の快適、かつ安全な利用を図るため、施設等を清潔に保ち、さらにその機能を正常に保持するため、適正な管理と建築物における法令に沿った保守点検等を実施。
自主事業の実施	総合武道施設としての特色を活かすとともに、競技人口の増加と競技力の向上を図り、武道振興の一助とするため、柔道、空手道、少林寺拳法、剣道の武道教室を開催。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
施設利用者数（人）	H20	214,000	206,864	96.7%	98.6%
	H21	206,000	203,685	98.9%	98.5%
	H22	200,000			
	H23				
使用料収入（円）	H20	26,400,000	24,888,755	94.3%	97.0%
	H21	26,892,000	24,120,595	89.7%	96.9%
	H22	25,800,000			
	H23				
【増減理由】 ・ 平成21年度は施設利用者数及び使用料収入ともに前年度と同程度であった。					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	有資格者を配置するとともに、年2回利用者に対し集中的にアンケートを実施し、利用者のニーズ・満足度を調査するなど、サービスの向上に努めている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	武道教室等の自主事業の実施及び携帯サイトで施設の空き情報が確認できるようにするなど様々な形で利用者に情報提供を行い、利用促進を図っている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	施設・設備の保守点検実施計画を基に、適時、適切に保守点検を実施するとともに、備品の総点検を実施するなど備品管理についても適切になされている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急時の対応マニュアルの作成等の体制整備を行うなど危機管理体制が確立されている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	B	指定管理料の執行について、電気の基本料金を見直すなど経費削減に努めているが、利用料金収入の実績が目標額に達していなかった。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	B	B	県内外の関係団体等に積極的に広報活動を実施するとともに、職員の接客サービスを強化し、利用者のリピート率を上げるよう努めた。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	武道館個人情報保護管理規定を作成するとともに、使用受付票の見直しを行うなど、個人情報の保護に注意を払っている。
総合評価	A	A	適正に管理されており、武道教室等の自主事業の実施及び携帯サイトでの施設利用情報の提供を行い利用促進を図るとともに、電気の基本料金を見直し経費の削減に努めるなど、優れた実績を上げている。

○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要